見つけた！まちのゼロカーボン

Vol.24

今回は、奥尻高校への出前授業として令和８年１月 27 日に実施した「脱炭素まちづくりカレッジ in 奥尻高校」についてご紹介します！（協力：檜山振興局環境生活課）

※脱炭素まちづくりカレッジとは、参加者が電力会社やスーパー、行政などの地域プレイヤーとなって、地域の活性化と脱炭素につながる様々なプロジェクトを実施し、地域全体の温室効果ガス排出量の半減を目指すゲーム体験プログラムです。

昨年 12 月におくしりゼロカーボン塾の一環としても実施しました。

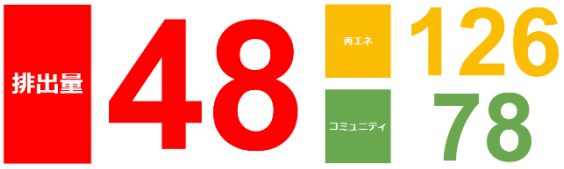
①講義：ゲーム体験前に、温室効果ガス排出量の増加により想定される危機的な将来や温室効果ガスの排出量を実質０にする「カーボンニュートラル」の必要性などについて奥尻町ゼロカーボン推進課の職員が講義を行いました。

②ゲーム体験：地域のプレイヤーとなった生徒たちが、プロジェクトの実施に必要なお金カードやパートナーカードを生徒同士で譲渡・交換して、地域の活性化と排出量の半減を目指しました。

序盤は各テーブル内での交流のみで、排出量の削減が進まず、気候変動による被害が発生し、事業者の収益や行政の税収が減少してしまうなど苦戦する場面もありましたが、ゲームが進むにつれて、教室全体での協働が増え、排出量の削減効果の大きいプロジェクトが数多く実施されるなど、最終的には地域の排出量半減という目標を達成しました！

地域の活性化を可視化した MAP もほぼ全て埋まり、結果発表では歓声が上がるほど大いに盛り上がりました。

ゲーム終了時の地域の排出量・再エネ普及度メーター



③振り返り：ゲーム体験終了後には、体験を通じて感じたことや学んだこと、持続可能な地域づくりにつながる自分にできる行動について、グループワークと全体共有を行いました。生徒たちからは、「エコバッグやマイボトルを使う」といった身近な実践のほか、「プロジェクトの実施には多くの人の協力や理解、資金が必要だと実感した」「排出量を見える化すると意識が変わる」「家族や友人、地域の人に学びを伝えたい」などの声が聞かれ、脱炭素を自分ごととして捉える姿勢が見られました。

今回は奥尻高校３年生を対象に実施しました。参加した生徒の多くは卒業後に島を離れるとのことですが、「脱炭素まちづくりカレッジ in 奥尻高校」で得られた学びを各地で生かしてくれることを期待しています！

【お問合せ先】ゼロカーボン推進課 ☎ 01397-2-3410